

華

※

非

※

華

2007年3月28日(水) — 4月22日(日) 森本 太郎 × 黄 姍姍 × 呉 詠潔

11:00 - 19:00 (入場は閉館30分前まで) 月曜休館 入場無料 会場：トーキョーワンダーサイト本郷

主催：トーキョーワンダーサイト 協力：駐日台北経済文化代表処・台湾観光協会 ・徳鴻画廊  会場構成協力：KENZO パルファム

花非花、霧非霧、夜半來、天明去；
來如春夢不多時、去似朝雲無覓處。

「花か、花にあらず、霧か、霧にあらず、
夜半に來り、天明に去る、來ることは春の夢の如く、
幾多の時去ること、朝雲に似てもとめるところなし」

日本でも親しまれている中国唐時代の詩人・白居易(白居易772年—846年)は詩「花非花」において、花と霧を人生に喩え、人生の美しさ、儚さを詠っている。唐の時代から遠く時を隔てた現代を生きる私たちにも、この詩は感銘を与えてくれる。それは物にあふれ、豊かな生活をしているようでも満たされない現代の虚構性のためかもしれない。虚構を多く含んだ先の見えない不安定な時代に人々が手に入れられるのは、ただ一瞬の現実すぎない。その現実もあつという間に価値観が変わり、両手をすり抜けていく。

ポストバブル時代と言われる日本、政治に翻弄される運命を負う台湾、その両方の時代を表現する言葉に「儚さ(はかなさ)」を選んだ。今回の展覧会ではこの「儚さ」をテーマとし、日本と台湾のアーティストの作品を紹介することで、「今、ここ」の時代を表現したいと考えている。

台湾の新世代のアーティスト呉詠潔(ウ・ウォンジェ)は、2006年に発表した「Song of Skin-deep」シリーズに代表されるように、形式化された花と形骸化した人間の微笑みを描き、日本のマンガの影響も受けたというかわいらしいビジュアルながら、シニカルに「美しさ」「楽しさ」の本質を問う作品を制作している。

日本の若手アーティスト森本太郎は、広告や雑誌等の切抜きを使い、ありふれたイメージをコンピューターで抽象化し、そのイメージをもとに絵画作品を制作している。彼の扱うモチーフは主に花と女性で、カラフルで美しい画面でありながら、絵の具の物質感と抽象化された色面によって、キャンバスに描かれたイメージは解体されていくようにも見える。

二人の作家の表現において、花が象徴する意味はそれぞれ異なるが、とらえられそうでとらえられない「美しさ」や「イメージ」のうつろいやさ、儚さという点では共通しているように思われる。

花はもはや花ではない。
花はわれわれの脆さの象徴となったのかもしれない。

企画者

黄 姍姍 Huang Shuan Shuan (ホワン・ナンナン)

1979年台湾台北市生まれ。2002年台湾国立師範大学美術学部卒業。2007年現在、東京大学大学院の文化資源学専攻博士課程に在籍、文化政策、文化経営を専攻。研究のほか、2005年「横浜トリエンナーレ」国際展のキュレーター・アシスタントを務め、2006年「少女と阿修羅—夏愛華台北・東京個展」のキュレーション、2008年台北での「夢十夜」展(予定)のキュレーションを行うなど、日本と台湾の両国をベースに活躍している。

drope

Morimoto Taro 2005
キャンバスにアクリル、油彩
145.5×89.3cm



Standard Smile

Wu Ynug Chieh 2005
キャンバスにアクリル、油彩
37×37cm





アーティスト

呉 詠 潔 Wu Ynug Chieh (ウ・ウンジェ)

1979年台湾高雄市生まれ。2001年台湾国立師範大学美術学部卒業。
2005年国立台南芸術大学造形芸術大学院修了。
台湾、中国、韓国の各都市にて展示活動を行っている。
主な個展は2005年「Standard Smile」科元芸術センター(台中)、
「幸福花園」新築園アートスペース(台北)、
「Songs of Skin-deep」科元芸術センター(台中)など。
一般的に使われる「幸福」「快樂」といった言葉の本質を見つめ、現代における表面的な
物事とその無意味さをシニカルに描いている。

Songs of Skin-deep4

Wu Ynug Chieh 2006
キャンバスにアクリル、油彩
37×37cm

strange flowers

Morimoto Taro 2003
キャンバスにアクリル、油彩
117.5×74.5cm



アーティスト

森本 太郎 Morimoto Taro

1969年岡山県倉敷市生まれ。1994年東京造形大学デザイン学科卒業。
1995年東京造形大学研究生(岡村多佳夫研究室)修了。東京を拠点に創作活動を続ける。
主な個展は2004年「残像-after image」アユミギャラリー(東京)、
2005年「project N 23 森本太郎」東京オペラシティアートギャラリー(東京)など。
広告や雑誌の切り抜きをコンピューターで加工し、そのイメージを絵画として制作する
ことで絵画の物質性とイメージについて追求している作家である。

＊ オープニングレセプション

2007年3月28日[水] 19:00-21:00 会場: トーキョーワンダーサイト本郷
＊フラワーモチーフの服装でご来場されたの方にKENZOパルファムのノベルティグッズと
出品作家のポストカードを差し上げます。(先着50名様限定)

＊ アーティストによる作品のライドトーク

2007年3月31日[土] 17:00-19:00 会場: トーキョーワンダーサイト本郷
＊アーティストが各自の作品について解説します。 ＊参加無料

＊ キュレータートーク

2007年4月14日[土] 14:00-16:30 会場: トーキョーワンダーサイト本郷
＊ゲスト: 南條 史生(森美術館 館長) 山野 真悟(ミュージアムシティプロジェクト 運営委員長)
＊台湾のアートシーンに詳しいキュレーターの方々をお招きして、日本と台湾のアートについて、
本展の企画者 黄 姍姍と語ります。 ＊参加無料

お問い合わせ先: 黄 姍姍(ホワン・サンサン) ss333sstw@hotmail.com

- 御茶ノ水駅・水道橋駅(JR総武線) ● 水道橋駅(都営地下鉄三田線)
- 御茶ノ水駅・本郷三丁目駅(東京メトロ丸の内線)
- 本郷三丁目駅(都営地下鉄大江戸線) 各駅よりそれぞれ7分
＊ 駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください。



TWS hongo

トーキョーワンダーサイト本郷

〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-16 TEL:03-5689-5331 FAX:03-5689-7501
Email:contact@tokyo-ws.org URL:http://www.tokyo-ws.org

